学校番号	J1002

令和８年度　道徳科

学年	1	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学道徳１「とびだそう未来へ（教育出版）」						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、きっちり授業に参加する。

2　学習の到達目標

（１）道徳的諸価値についての理解を深め、自己の生き方に関わる価値を、自分との関係で捉えられるようになる。また、多様な価値観や人間理解を通じて、道徳的価値の意義や大切さを理解する。
（２）自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育み、道徳的課題に対して、自らの考えを形成し、他者と対話・議論を通じて深める。また、自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力や表現力を高める。
（３）道徳的価値を自分の問題として捉え、主体的に向き合う姿勢を育てるとともに、授業や活動に積極的に参加し、誠実に考え、実践しようとする意欲を持つ。また、自らの成長を振り返り、今後の課題や目標を見つけようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自ら考えて	中学校に入学した自覚をもつ				
		いじめを許さない心について考える				
		新しい仲間を思いやり、よりよい学校生活を送る				
2学期	広い視野で	他者の気持ちを考えて行動する				
		情報モラルについて考える				
		社会との関わりを考える				
		広い世界に目を向ける				
3学期	共に学びあいながら	進級に向けた準備をする				
		よりよい自分を探す				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1002

令和８年度　道徳科

学年	2	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学道徳２「とびだそう未来へ（教育出版）」						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、きっちり授業に参加する。

2　学習の到達目標

（１）道徳的諸価値についての理解を深め、自己の生き方に関わる価値を、自分との関係で捉えられるようになる。また、多様な価値観や人間理解を通じて、道徳的価値の意義や大切さを理解する。 （２）自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育み、道徳的課題に対して、自らの考えを形成し、他者と対話・議論を通じて深める。また、自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力や表現力を高める。 （３）道徳的価値を自分の問題として捉え、主体的に向き合う姿勢を育てるとともに、授業や活動に積極的に参加し、誠実に考え、実践しようとする意欲を持つ。また、自らの成長を振り返り、今後の課題や目標を見つけようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自覚をもって	上級生として生活する				
		いじめを許さない心について考える				
		自分のことを知ろう				
2学期	広い視野で	情報モラルについて考える				
		働くことについて考える				
		多様性について考える				
		環境について考える				
		自分の良さを伸ばす				
3学期	よりよい生き方を求めて	最上級生となる自覚をもつ				
		よりよい生き方を目指す				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1002

令和８年度　道徳科

学年	3	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学道徳３「とびだそう未来へ（教育出版）」						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、きっちり授業に参加する。

2　学習の到達目標

（１）道徳的諸価値についての理解を深め、自己の生き方に関わる価値を、自分との関係で捉えられるようになる。また、多様な価値観や人間理解を通じて、道徳的価値の意義や大切さを理解する。 （２）自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育み、道徳的課題に対して、自らの考えを形成し、他者と対話・議論を通じて深める。また、自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力や表現力を高める。 （３）道徳的価値を自分の問題として捉え、主体的に向き合う姿勢を育てるとともに、授業や活動に積極的に参加し、誠実に考え、実践しようとする意欲を持つ。また、自らの成長を振り返り、今後の課題や目標を見つけようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	志をもって	最上級生という自覚をもって行動する				
		いじめを許さない心について考える				
		将来を思い描く				
2学期	広い視野で	他者とともに生きる社会を思い描く				
		情報モラルについて考える				
		歩いてきた道を振り返る				
		社会の一員としての自覚について考える				
3学期	よりよい生き方を求めて	新しい進路に向かって自分を見つめ直す				
		新しい進路へはばたく				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度